



聖マリアンナ医科大学病院
メディカルサポートセンター看護相談

きれめのない医療とケア提供を目的として



平成21年7月22日 地域医療との勉強会開催

「第4回腹膜透析学習会」

平成20年10月に訪問看護の方々と腹膜透析について最新情報を共有することを目的とし始まった「腹膜透析学習会」もシリーズ学習会となり、今回は最終回を迎えることとなりました。前回同様に今回もたくさんの訪問看護ステーションよりご参加頂き情報交換が行えました。



◆ 参加施設8施設 ◆参加者数 34名

◆ 内容

「PD 患者訪問看護の実際について学ぶ」

野中医院

富田 ゆかり看護師

「訪問看護の実際」

すみだ訪問看護ステーション

但見 雅代看護師

今回は、腹膜透析患者の在宅移行に関して、PD 患者訪問看護を行うにあたっての準備と連携の実際をわかりやすくご紹介いただきました。

参加している訪問看護ステーションからは、日々の疑問や連携のポイントなど実践に即した質問が出て、活発な意見交換ができました。

今回の第4回をもちまして、腹膜透析学習会のシリーズはひと通り終了となりましたが、地域では専門的な学習の場を得ることは容易ではなく、終了後のアンケートでは今後も継続の希望がありました。引き続き検討していく方向です。



アンケート結果…

- ・事例を通し、具体的に説明が聞かれたので、理解しやすかった。
- ・連携をどう取っているか、とても参考になった。
- ・サテライト医療機関、ステーションのそれぞれの役割や連携の取り方など、参考になった。

などの意見をいただきました。

今後も機会があれば参加したいというご希望も多数あり、参加者の皆様の熱心さがうかがわれました。